

2008年（平成20年）10月27日

各 位

エプソントヨコム株式会社
代表取締役社長 宮澤 要
（コード番号 6708 東証第一部）
お問い合わせ先 経営推進部
TEL(042)581-1707（代）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月28日の決算発表時に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

- (1) 平成21年3月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正
(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	46,000	3,200	4,200	2,600	13.85
今回修正予想 (B)	46,000	2,000	3,100	2,000	10.66
増減額 (B-A)	0	△1,200	△1,100	△ 600	—
増減率 (%)	0	△ 37.5	△ 26.1	△ 23.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成19年9月中間期)	47,734	3,620	8,058	5,182	28.58

- (2) 平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	98,000	8,000	10,000	6,200	33.04
今回修正予想 (B)	90,000	2,100	4,100	2,200	11.72
増減額 (B-A)	△ 8,000	△ 5,900	△ 5,900	△ 4,000	—
増減率 (%)	△ 8.1	△ 73.7	△ 59.0	△ 64.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	96,709	8,024	12,584	8,428	46.33

2. 修正理由

(1) 第2四半期連結累計期間

売上高はほぼ予想通りとなる見込みではありますが、海外向け客先の在庫調整が長引いたこと等により販売数量が計画を下回ってしまったこと、原材料価格の高騰等の影響もあり製品のコストダウンが当初計画より遅れたことなどから、費用等の負担が増加して営業利益の悪化が見込まれます。

(2) 通期

携帯電話市場向けの数量が当初計画を下回る見通しとなり、その他のアプリケーション向けについても全体的に伸び悩みが予測され、さらに厳しい状況が見込まれることから、通期業績予想も修正いたしました。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上